

北区日中会報

発行日
平成25年7月1日
第36号

編集 北区日中友好協会広報
発行 北区日中友好協会
東京都北区王子2-14-17
丸山事務所内 TEL03-3911-2381

北区日中友好協会定期大会開催

大会終了後は和やかに懇親会

北区日中では去る5月18日（土）、北とびあの会議室において平成25年度の定期大会を開催しました。大会では24年度活動報告、会計報告、25年度の活動計画案、予算案が提案され、全会一致で議案が承認されました。来賓としてお越しいただいた東京都日中友好協会の栗山眞之事務局長の祝辞をいただき閉会、会場を15階のペガサスホールに移し、友好促進懇談会を開催いたしました。

参加者は73名、これからの中国を担う後楽寮の寮生や千葉大留学生なども招待させていただきました。開会に先立ち、4月に発生した四川省大地震の犠牲者に黙祷が捧げられました。続いて参加者が壇上に掲げられた日中両国国旗に向かい、日中両国の国歌演奏が流されました。はじめに主催者を代表して花川與惣太会長（北区長）が挨拶に立ち、本年が旧宣武区から続く西城区との姉妹区締結20周年の節目の年にあたり、今後とも西城区との交流を一層深め



ていきたいと語り、来賓の中国大使館・汪婉参事官（大使夫人）は、日中間には難しい問題もあるが、民間交流が益々重要となり、北区日中の今後さらなる活躍に期待するとの祝辞を寄せられました。その後、衆議院の青木愛先生からも祝辞が述べられ、区議会友好議員連盟の戸枝大幸会長の乾杯の発声で懇談に入りました。懇談の途中では後楽寮の女子留学生が透き通るようなソプラノで「千の風になって」を歌い上げると、参加者からは大喝采を受けアンコ

ールに応えていました。また、2月に開催された春節会と4月のスポーツ交流のニュース映像（CCTV大富提供）がスクリーンに流され、北区日中友好協会の活動を報告させていただきました。最後に、「海はふるさと」を日中両国語で、また会員のハーモニカ伴奏で日本童謡の「ふるさと」を全員合唱すると会場も一気に盛り上がり、大いに友好を深めた後、原田隆理事長の閉会の挨拶で、楽しく和やかな懇談会の幕を閉じました。

平成24年度の活動報告と平成25年度の活動計画

平成24年度活動報告

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

年月日	内容	会場
H24. 04. 22	日中友好スポーツ交流会 (108名参加)	滝野川体育館
04. 19	理事会 (定期大会、他)	北とぴあ
05. 26	定期大会 (30名)	北とぴあ
05. 26	友好促進懇談会 (66名)	北とぴあ
09. 08	ミニコンサート (馬頭琴演奏 参加100名)	北とぴあ
11. 08	理事会 (バスハイク、春節会、他)	北とぴあ
10. 06～7	区民祭りに参加	飛鳥山公園
11. 23	友好バスハイク(南房総方面 48名参加)	
H25. 02. 03	春節餃子パーティー (244名参加)	王子小学校

※他に実行委員会、事務局会議を随時開催。中国語講座 (入門、初級) を年2回、開催した。

平成25年度活動計画

昨今の「尖閣問題」の影響によりギクシャクした日中関係は一向に改善されず、両国民の対中、対日感情の悪化が心配されているが、本会の示してきた民間交流活動は各方面より高い評価を得て来た。本年は日中平和友好条約締結35周年の節目の年に当たり、本会も協会設立の精神に基づき、アジアの安定と世界平和実現のため、その意義を深く認識し、各行事を例年以上に充実した内容のものとする他、日中友好運動の理念を一人でも多くの区民に伝えるためにも会員の増強に尚一層努めるものとする。

従来の訪中団派遣による日本と中国の交流の絆を基本に据え、なお、その上に一般区民の参加を求める行事、または、中国留学生、就学生、帰国者のお世話等の協会としての公共性を盛り込む等の行事を企画する。

平成25年度行事計画

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

年月日	行事	会場
H25. 04. 21	日中友好スポーツ交流会	滝野川体育館
05. 18	定期大会	北とぴあ
05. 18	懇親会	北とぴあ
10月上旬	講演会	未定
10. 05～06	区民祭りに参加	飛鳥山公園
11月中旬	友好バスハイキング	未定
H26. 2月上旬	旧正月を祝う春節餃子パーティー	王子小学校

※行事の計画、執行に合わせて理事会、実行委員会、事務局会議を随時開催する。

※中国語講座 (入門、初級) を年2回、開催する予定。

※西城区訪日団が来区の場合は歓迎宴などを開催。

※青少年キャラバン等で西城区の青少年の訪問が有る場合、記念品などを贈呈

春節餃子パーティー 王子小学校で今年も盛大に開催

北区日中恒例の春節餃子パーティーが去る2月3日(日)に王子小学校ランチルームで盛大に開催されました。今年はロコミでの参加者も増え、1週間前には申し込みを終了するほどの状況の中、中国人150人、日本人90人、合わせて240人が参加しました。当日は午前9時より家庭科室で餃子の皮作りと具の仕込み作業を開始しました。続いて具の皮包み作業がランチルームにて

4ヶ所のテーブルに分かれ行われました。中国人参加者が日本人参加者に手ほどきをしながら、和気あいのアットホームな雰囲気の中進められました。正午ちょうどに開会となり、北区日中の花川與惣太会長(北区長)より新年の挨拶、来賓を代表して国土交通省の太田昭宏大臣、衆議院の青木愛議員、中国大使館友好交流部の王麟三等書記官が祝辞を述べられました。王子小の山本英一校長の歓迎の挨拶の後、東京都日中友好協会の坂田和子副理事長の乾杯の発声でパーティーが賑やかにスター



トしました。各テーブルには熱々の水餃子の他、お寿司、鶏の唐揚げ、油条が並び、初めて参加した中国人留学生達は故郷を思いつつ、楽しそうに杯を傾けていました。恒例のビンゴゲームの景品も例年に比べグレードアップし、機内持ち込み用の旅行カバンやテレビも見られるポータブルDVDプレーヤー、CDラジカセなどが準備されました。また今回も特別に抽選会を実施、当たりくじの中には1万円、5千円の商品券もあり、リーチ、ビンゴの掛け声の度に会場も大いに盛り上がりました。また、余

興では後楽寮の女子留学生と男子留学生がそれぞれ美声を披露し、1万円の商品券を当てた内モンゴル出身の留学生は迫力のある馬頭琴を演奏して喝采を浴びていました。そのほか、女子留学生のバイオリン演奏、内モンゴル出身の女性は民族衣装で故郷の民謡を披露しました。参加者達は昨年秋からのギクシャクした日中関係がここではウソのように友好交流を深め合っていました。最後に皆川誠一副会長の閉会の挨拶で和やかに楽しんだパーティーの幕を閉じました。

スポーツ交流 爽やかに汗を流す

東京都日中友好協会と北区日中友好協会の共催による恒例の日中友好スポーツ交流会が東京北区の滝野川体育館を会場に4月21日に開催されました。前日午後から降り出した冷たい雨

の影響もあり、20名近いキャンセルがあったものの約100名の方々の参加を得ました。開会に先立ち、前日に四川省で発生した大地震により亡くなった方へ全員が黙祷を捧げ、両国の友好を

願い日中両国の国歌が会場に流されました。主催者を代表して都日中の宇都宮徳一郎会長より「雨にもかかわらず、大勢の日中の青年がこのように集まり、スポーツを通じて友好を深め合うことは、

大変素晴らしい。怪我に充分注意して楽しんでください」と挨拶しました。また、北区役所総務課の都築寿満課長より参加者激励の挨拶がありました。準備体操は「北区の歌」に振り付けられた「さくら体操」で、全員が音楽に合わせて体をほぐしてから競技が開始されました。「友誼(友好)第一、比賽(勝敗)第二」のスローガンと両国の国旗が掲げられた体育館は今年も3分割され、第1面はバレーボール、第2面はバドミントン、第3面では卓球と太極柔力球コーナー。参加者は自由にプレーでき、卓球からバドミントン、午後はバレーなどと競技を渡り歩いて参加者同士は初顔合わせでも仲良く友好を深め合っていました。太極柔力球の体験



コーナーは中国生まれのニュースポーツという物珍しさも手伝って、参加者は係員の指導の下、ラケット片手に体を動かしていました。そして、全員が心地よい汗を流し、午後3時半、解散となりました。この交流会には事前の

打ち合わせの段階から日中青少年交換キャラバンOB、OGの有志が実行委員として運営に協力していただきました。なお、受付に置かれた四川大地震への義援金箱には1万4,777円もの善意が寄せられました。

中国語講座 入門コースと初級コースを開催

春季中国語講座は北区役所との協力のもと4月に開講、10回の講座を終え6月に終講しました。今秋も同様の講座を予定しております。入門は9月24日、初級は9月25日より。8月の北区ニュースでお知らせいたします。

北区日中ミニコンサート 日中友好バスハイク

今年の講演会は定期大会後の懇親会で素晴らしいソプラノを披露していただきました東京芸大の留学生をお招きしコンサートとして企画しております。今回も北区役所のご協力をいただき、北区ニュースで広く区民の方にもお知らせする予定です。開催日は10月4日(金)、会場は北とびあスカイホールです。詳しくは別途ご案内する予定です。また、毎年好評の日中友好バスハイクは日程及び行き先について検討中ですが、今年もより満足度の高いバスハイクを検討中です。各位へのお知らせは10月になります。なお、会員各位よりご提案ご要望がある場合は理事会または事務局へご連絡いただければ幸いです。

会費納入のお願い

定期大会が無事終了いたしました。新たな方針のもと昨年度以上の充実した活動を続けていきますが、これらの活動を保証するのは会員各位よりの会費です。よって今年度もあらためて会費納入のお願いを申し上げます。会員の皆様には別途、会費納入の依頼文書を同封させていただきましたので、よろしくお願いたします。